

多胡碑記念館第47回企画展

ぼうすいしや 紡錘車のふしぎ

矢田遺跡を中心に



412号住居跡出土



168号住居跡出土



714号住居跡出土

※資料はすべて矢田遺跡出土（群馬県蔵）

2026 7/18[土] - 9/13[日]

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(但し、7/20[月]は開館し、7/21[火]は振替休館)

観覧料 無料(上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録記念)



多胡碑記念館

〒370-2107 群馬県高崎市吉井町池1085

電話 027-387-4928 FAX 027-387-8726



- 上信電鉄高崎駅(JR高崎駅)から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分
よしいバス(有料)、上野三碑めぐりバス(無料)で約10分
- 上信越自動車道 吉井ICから車で約7分
詳しくは多胡碑記念館ホームページをご覧ください。

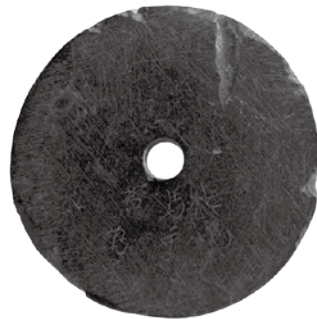
高崎市に所在する^{やた}矢田遺跡（現在の^{ぼうすいしゃ}上信越自動車道吉井インターチェンジ周辺）は、特別史跡の多胡碑文にもある古代多胡郡建郡にかかわる「矢田郷」（『続日本紀』）、「八田」郷（『倭名類聚抄』）と推定される地域に所在します。本遺跡は、古墳時代後期から平安時代の^{ぼうすいしゃ}竪穴住居跡や、布の生産に関連する多くの紡錘車と織物関連遺物が出土した大規模な集落遺跡として知られています。特に糸を紡ぐ紡錘車は、古代社会の租税として納める布を生産するための重要な道具であることから、この地域が多胡郡の経済的基盤を支える紡績や織物業の生産拠点であったことを物語っています。

紡錘車は、単に住居跡から出土する糸や織物の生産のための実用品にとどまらず、古墳の周溝、竪穴住居跡の竈や床下からも出土します。また、願文や文字が刻まれたものも多く発見されていることから、^{かまど}祭祀や呪術の道具としても使用されたとみられています。

本展が、多様な側面のある紡錘車について考える契機となり、さらに上野三碑の魅力を次世代へと伝える一助となれば幸いです。



12号住居跡出土
「物部郷長」の刻字



83号住居跡出土
「牝馬 馬手 為嶋名」の刻字



50号住居跡出土
「八田郷 八田郷 八田郷 家郷」の刻字

※写真はすべて矢田遺跡出土 平安時代（群馬県蔵・写真提供）上記3点は複製品の展示となります。

展示構成

- 1章 紡錘車とは
- 2章 多胡郡の紡績や織物業の生産拠点「矢田遺跡」
- 3章 矢田遺跡の紡錘車
- 4章 古代上野国の不思議な紡錘車
- 5章 鉄製紡錘車

糸紡ぎ体験

現代の紡錘車を使った糸紡ぎ体験ができます。



令和8年7月25日（土）
 ♪ 8月15日（土）
 ♪ 8月23日（日）

いずれも①午前10時30分～、②午後1時～、③午前3時～
 （申し込み不要）



- 上信電鉄高崎駅（JR高崎駅）から車で約15分
- 上信電鉄吉井駅から車で約5分、徒歩で約30分
 よしいバス（有料）、上野三碑めぐりバス（無料）で約10分
- 上信越自動車道 吉井ICから車で約7分
 詳しくは多胡碑記念館ホームページをご覧ください。